



JASDAQ

2019年8月1日

会社名 テクノホライズン・ホールディングス 株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 水上 康
電話 052-823-8551

授業をもっとわかりやすくしたい若手の先生のためのお役立ちマガジン 実物投影機活用事例集『Hot Edu Growing』無料配布のお知らせ (当社連結子会社：株式会社エルモ社)

当社の連結子会社である株式会社エルモ社が、授業をもっとわかりやすくしたい若手の先生のためのお役立ちマガジンとして、学校での定番で便利な実物投影機活用方法を事例集としてまとめたフリーマガジン「Hot Edu Growing」を教育関連機関に向けて2019年8月1日から無料配布することをお知らせいたします。

Hot Edu Growing vol.1

[ネットエデュケーティング]



学校教育のICT環境整備が進む中、実物投影機（書画カメラ）は、1教室に1台の常設ICT機器として幅広く認知され、世界的に普及が進んでいます。

実物投影機のリーディングカンパニーであるエルモ社では2008年から、授業をもっとわかりやすくしたい先生のためのお役立ちマガジンとして、実物投影機の活用事例集「Hot Education」シリーズを発行してまいりました。（現在は第三世代として「Hot Edu Up」を発行中）

今回リリースする新シリーズ「Hot Edu Growing」は、堀田龍也教授[東北大学大学院 情報科学研究科]と高橋純准教授[東京学芸大学 教育学部]監修の元、佐藤和紀専任講師[常葉大学 教育学部]が中心となり、エルモ社との産学共同研究の成果を掲載した事例集です。

本書は、「若手の先生のお悩み解決！ベテラン先生からの実物投影機の活用術アドバイス」として、特に若手の先生に向けて、授業中での活用ポイントをベテラン先生の立場からの助言を交えて伝える内容となっています。具体的な授業中での活用場面を、写真を中心にわかりやすく構成しており、お手元に届いてすぐにお役立ていただける事例集です。

今回の新シリーズ「Hot Edu Growing」も「Hot Edu Up」同様、息長くお使いいただけるフリーマガジンとして、より多くの先生方のお手元へ、あるいは ICT 研修資料として教育委員会などの教育関連機関へ、エルモ社よりお届けいたします。

【Hot Edu Growing の概要】

1) ご希望の先生方へ無償で配布*

専用 Web サイトからお申し込みを受け付け、無料でお届けいたします。

2) 初めて実物投影機を使う先生にもわかりやすい紙面構成

若手の先生の実物投影機活用例ごとに、ベテランの先生から助言を伝える紙面構成となっており、ベテランの先生の実物投影機活用ノウハウを取得しやすく、写真中心の紙面構成で直観的にわかりやすい内容です。

3) ステップごとの活用例の紹介と解説

Vol.1 では実物投影機の定番活用を中心に掲載しており、Vol.1-Vol.3 までのシリーズで発行を予定しています。

4) Hot Edu Growing 申込先

株式会社エルモ社 Hot Edu Growing 専用サイト

URL : <https://hoteduup.jp/growing/index.html>

- *申込専用ページへアクセスし、お問い合わせの目的：『Hot Edu Growingのご希望』を選択してください。
- *商業目的での本冊子ご利用のお申し込みはご遠慮いただいております。

- ELMO ロゴは、株式会社エルモ社の登録商標です。
- その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

詳細につきましては、添付資料『株式会社エルモ社 プレスリリース：授業をもっとわかりやすくしたい若手の先生のためのお役立ちマガジン 実物投影機活用事例集『Hot Edu Growing』（ホットエデュ・グローイング）』をご参照ください。

以上

授業をもっとわかりやすくしたい若手の先生のためのお役立ちマガジン

実物投影機活用事例集『Hot Edu Growing』 (ホットエデュ・グローイング)

2019年8月1日より無料配布

テクノホライズングループ(JASDAQ:証券コード6629)の株式会社エルモ社(本社:名古屋市南区塩屋町1-3-4 代表取締役社長:野村拓伸)は、2019年8月1日より、授業をもっとわかりやすくしたい若手の先生のためのお役立ちマガジンとして、学校での定番で便利な実物投影機活用方法を事例集としてまとめたフリーマガジン「Hot Edu Growing」を教育関連機関へ無料配布いたします。



学校教育のICT環境整備が進む中、実物投影機(書画カメラ)は、1教室に1台の常設ICT機器として幅広く認知され、世界的に普及が進んでいます。

実物投影機のリーディングカンパニーであるエルモ社では2008年から、授業をもっとわかりやすくしたい先生のためのお役立ちマガジンとして、実物投影機の活用事例集「Hot Education」シリーズを発行してまいりました。(現在は第三世代として「Hot Edu Up」を発行中)

今回リリースする新シリーズ「Hot Edu Growing」は、堀田龍也教授[東北大学大学院 情報科学研究科]と高橋純准教授[東京学芸大学 教育学部]監修の元、佐藤和紀専任講師[常葉大学 教育学部]が中心となり、エルモ社との産学共同研究の成果を掲載した事例集です。

本書は、「若手の先生のお悩み解決!ベテラン先生からの実物投影機の活用術アドバイス」として、特に若手の先生に向けて、授業の中での活用ポイントをベテラン先生の立場からの助言を交えて伝える内容となっています。具体的な授業の中での活用場面を、写真を中心にわかりやすく構成しており、お手元に届いてすぐにお役立ていただける事例集です。

今回の新シリーズ「Hot Edu Growing」も「Hot Edu Up」同様、息長くお使いいただけるフリーマガジンとして、より多くの先生方のお手元へ、あるいはICT研修資料として教育委員会などの教育関連機関へ、エルモ社よりお届けいたします。

【Hot Edu Growing の概要】

1)ご希望の先生方へ無償で配布*

専用 Web サイトからお申し込みを受け付け、無料でお届けいたします。

2)初めて実物投影機を使う先生にもわかりやすい紙面構成

若手の先生の実物投影機活用例ごとに、ベテランの先生から助言を伝える紙面構成となっており、ベテランの先生の実物投影機活用ノウハウを取得しやすく、写真中心の紙面構成で直観的にわかりやすい内容です。

3)ステップごとの活用例の紹介と解説

Vol.1 では実物投影機の定番活用を中心に掲載しており、Vol.1-Vol.3 までのシリーズで発行を予定しています。

[Vol.1 目次]

○連続コラム

・「さあ、実物投影機を使おう！」(東北大学大学院 情報科学研究科 教授 堀田 龍也)

・「若手こそ実物投影機を使おう！」(常葉大学 教育学部 専任講師 佐藤 和紀)

○ここから始める実物投影機活用(東京学芸大学 教育学部 准教授 高橋 純)

○若手の先生の授業 Before After

・若手の先生の活用事例とベテランの先生のアドバイス

「MAX 拡大(大きく映す)」「ノートの書き方の説明」「指示を通す」等

○実物投影機を使っている先生に聞きました

・「大きく見える」「書き込みができる」「遠くのものも見える」

・実物投影機で、すぐに考えが伝えやすくなりました。

○新任の先生に聞きました

・実物投影機を使い始めて感じたこと

4)Hot Edu Growing 申込先

株式会社エルモ社 Hot Edu Growing 専用サイト

URL: <https://hoteduup.jp/growing/index.html>

*申込専用ページへアクセスし、お問い合わせの目的:『Hot Edu Growingのご希望』を選択してください。

*商業目的での本冊子ご利用のお申し込みはご遠慮いただいております。

- ELMO ロゴは、(株)エルモ社の登録商標または商標です。

- その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。

- 本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

【この件に関するお問合せ先】 株式会社エルモ社 マーケティング部 ICT マーケティング課

電話:052-811-4465 FAX:052-811-5142 住所:愛知県名古屋市南区塩屋町 1-3-4

e-mail: ict@elmo.co.jp URL: <https://hoteduup.jp/growing/index.html>